

WEAPON & MECHANISM

■モノアイ



■ヒート・サーベル

刀身が灼熱化する事で敵MSの装甲の溶断も可能。バックパックのアタッチメントに装着されており、単純に巨大な刀剣としての斬撃、あるいは鉋などのような切削にも使用できる。



■腕部2連装グレネード・ランチャー

左右の腕部に装備される榴弾の射出装置。主に威嚇や牽制に用いられるが、威力は部位破壊や携行兵器の無力化などに効果を発揮する程度である。



■肩アーマー



■脚部6連装ミサイルポッド

脚部にマウントして使用する6連装のミサイルポッド。ミサイルを使い切った後はユニットごとページする。



■腰部フロントアーマー



■バックパック



■背部バーニア



■ソール



■股関節



MS-08TX[EXAM] イフリート改 SPEC

●全高:18.1m/頭頂高:17.2m/本体重量:50.4t/全備重量:59.4t/装甲材質:超硬スチール合金/

武装:ヒート・サーベル×2、腕部2連装グレネード・ランチャー×2、脚部6連装ミサイルポッド×2 ※データはストーリー上の設定です。

PAINTING [塗装]

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体等 ブルーの塗装色 インディブルー(55%)+ブルー(30%) +ホワイト(15%)	本体等 オレンジ部の塗装色 オレンジ(70%)+シャインレッド(30%) +ブラウン(少量)	脚等 イエロー部の塗装色 イエロー(70%) +オレンジイエロー(30%)	関節等 グレー部の塗装色 グレー(70%) +ブラック(30%)	本体等 ブラック部の塗装色 ブラック(100%) +ブラウン(少量)	胸センサー等 ワインレッド部の塗装色 ワインレッド(100%)	モノアイの塗装色 ピンク(100%)
---	---	--	---	---	---------------------------------------	-----------------------

※ここに掲載している情報は2016年4月現在のものです。

RE/100
REBORN-ONE HUNDRED

© 創通・サンライズ

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are
your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任で対応をお願いします。



PRINCIPALITY OF ZEON EXAM SYSTEM LOADING TEST TYPE MOBILE SUIT

MS-08TX[EXAM] EFREET CUSTOM

1/100 SCALE MODEL REBORN-ONE HUNDRED MS-08TX[EXAM] イフリート改

クルスト・モーゼス博士が開発した「EXAMシステム」を搭載した機体。
MS-08TX[EXAM] イフリート改

EXAMシステムとは、乱暴な言い方をすれば、機体を意図的に暴走させることで限界性能を超えた稼働を実現するシステムである(対NTデバイスとする説もあるが詳細は不明)。原型となったイフリートは、局地戦用に特化されたMSとして、開発計画から設計・建造に至るまで、すべてが地球侵略部隊内で行われたカスタムメイド機であり、対MS戦における近接戦闘能力は公国軍内でも屈指のスペックを誇る。ただし、生産性や操作性が劣悪だったため、最終的にロールアウトしたのは8機のみとされる。初期の地球降下作戦を経て、ザクのバリエーションに頼って戦線の展開に限界を感じた公国軍は、地上侵攻用に進めていた水陸両用機などを含む特務MSの開発計画に並行して、移動能力の抜本的な改善や対MS戦を見据えた格闘能力向上機の開発をすすめていた。イフリートもそうした機体のひとつであり、格闘、白兵を主眼とした機体構造は、当時としては最高水準の柔軟性と堅牢性を兼ね備えていた。近接戦闘能力はグフをもしのぎ、脚部の大出力バーニアは高い機動性を発揮する。強力な冷却ユニットを含むEXAMシステムを搭載するため、頭部ユニットそのものが大型化されており、バルカン砲のオミットと共に原型機との最大の差異となっている。加えてボディユニットの冷却能力や機動性なども強化されている。本機は、連邦に亡命したモーゼス博士を追撃する部隊に配備され、ニムバス・シューター・ゼン大尉が騎乗。同じEXAMシステム搭載機であるRX-79BD-1 ブルーディスティニー1号機との戦闘によって撃破されている。



BANDAI 2016 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は、塗装してあります。※この商品には、RE/100 1/100 イフリート改1体のみ入っています。

0204882



△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

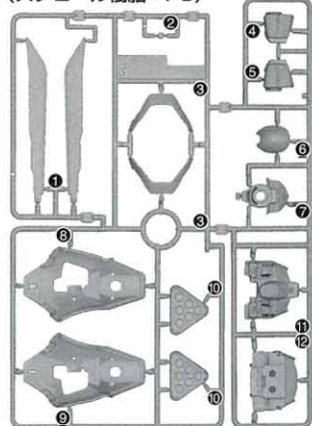
＜組み立てる時の注意＞

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。

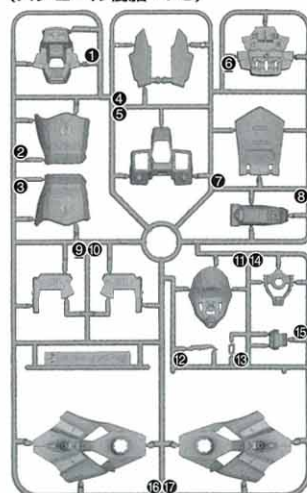
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

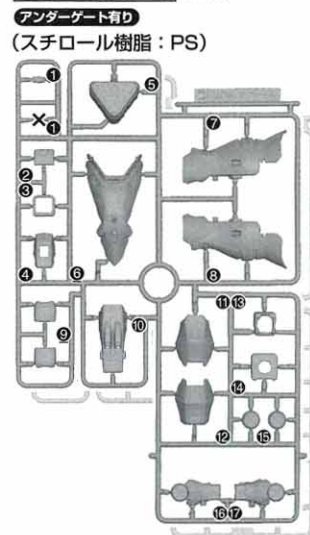
Aパーツ(イロプラ) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



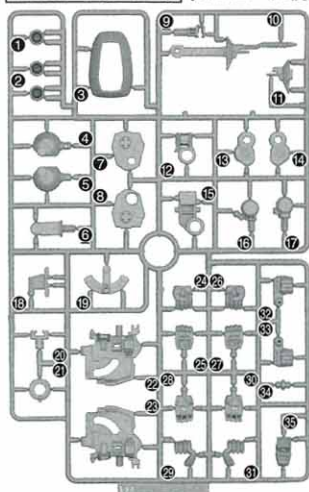
Bパーツ(ブルー) アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



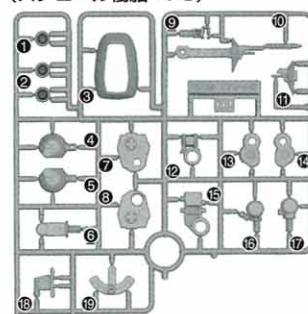
Cパーツ(ブルー) (×2)



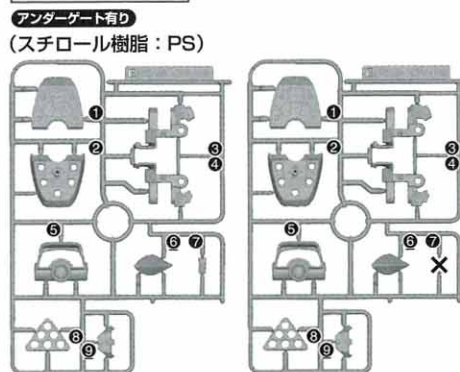
D1パーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



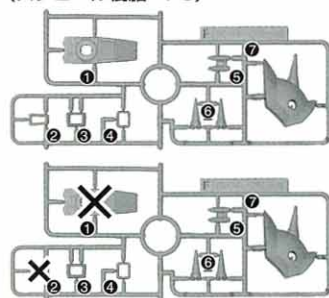
D2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



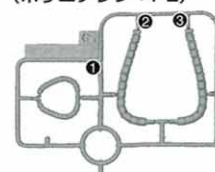
Eパーツ(ブラック) (×2)



Fパーツ(オレンジ) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



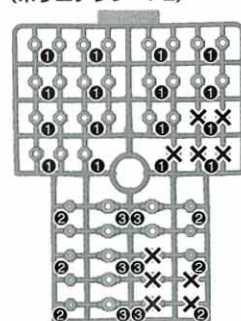
G1パーツ(グレー)
(ポリエチレン: PE)



G2パーツ(イエロー)
(スチロール樹脂: PS)



PC-210パーツ(グレー)
(ポリエチレン: PE)



カラーシール.....1
マーキングシール.....1

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

説明書をよく読んで完成させましょう。

STEP1⇒STEP2⇒STEP3の流れで組み立てていきます。

STEP1: BODY / HEAD / LEG

01 胸部[BODY UNIT]



02 頭部[HEAD UNIT]

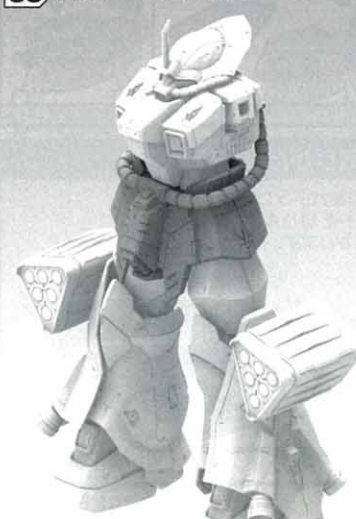


03 04 05 脚部[LEG UNIT]



STEP2: WAIST / BACKPACK / ARM

06 腰部[WAIST UNIT]



07 バックパック
[BACKPACK]

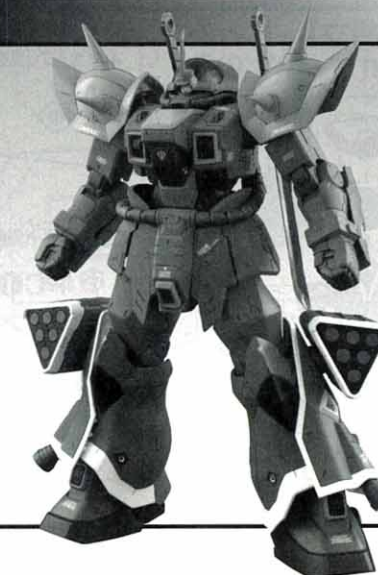
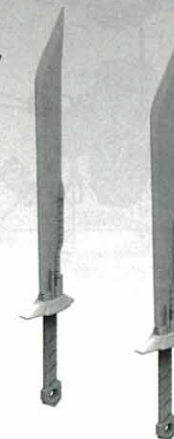


08 09 10 腕部[ARM UNIT]



STEP3: WEAPONS

11 ヒート・サーベル
[HEAT SABER]



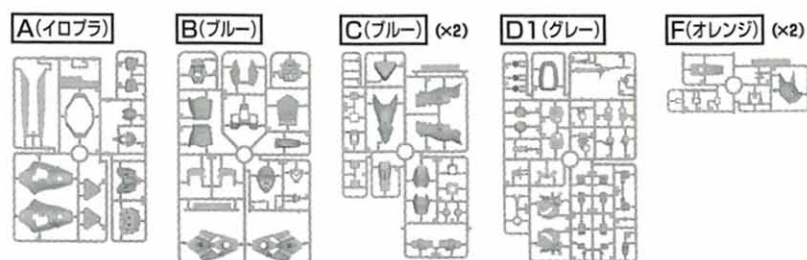
※画像の完成品は
塗装してあります。

部品の向きや左右など、イラストをよく見て組み立ててください。

STEP1

01 BODY UNIT

・組立[01]で使用するパーツ



PC (Grey)

・カラーシール

アンダーゲートの切り取りかた

アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で「アンダーゲート」と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。
の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



※イラストは一例です。

部品の探し方

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいですよ。)

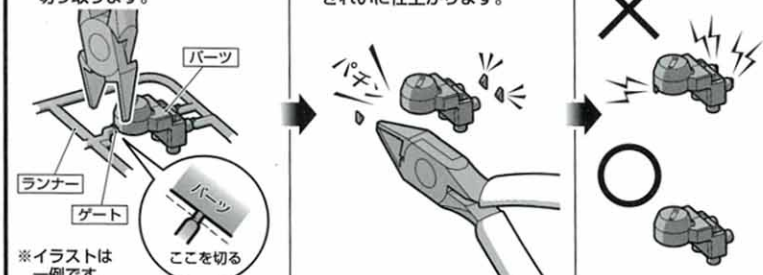


※イラストは一例です。

パーツの切り取りかた

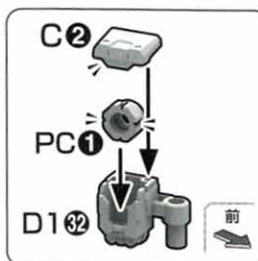
① まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

② ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。

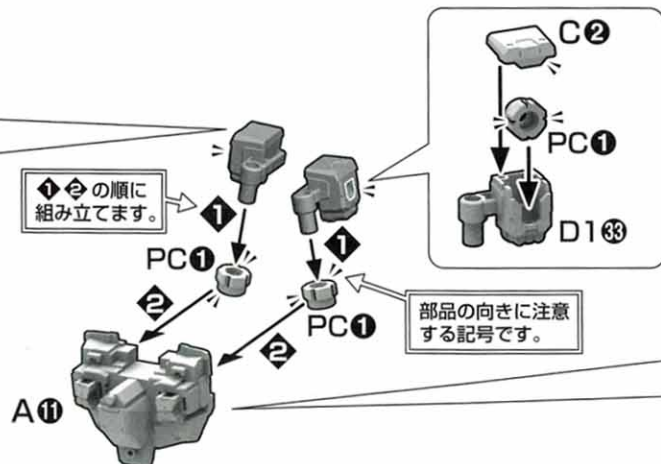


※イラストは一例です。

01-1 [胸部の組立] BODY UNIT



① ②の順に組み立てます。



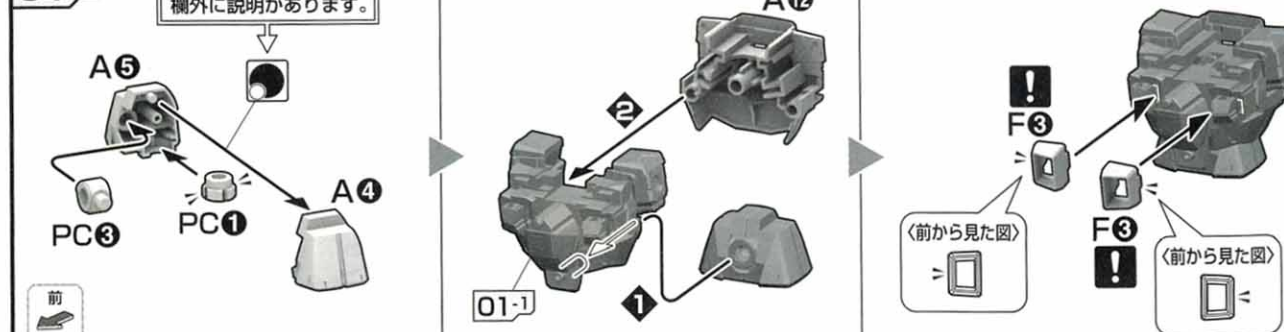
部品の向きに注意する記号です。



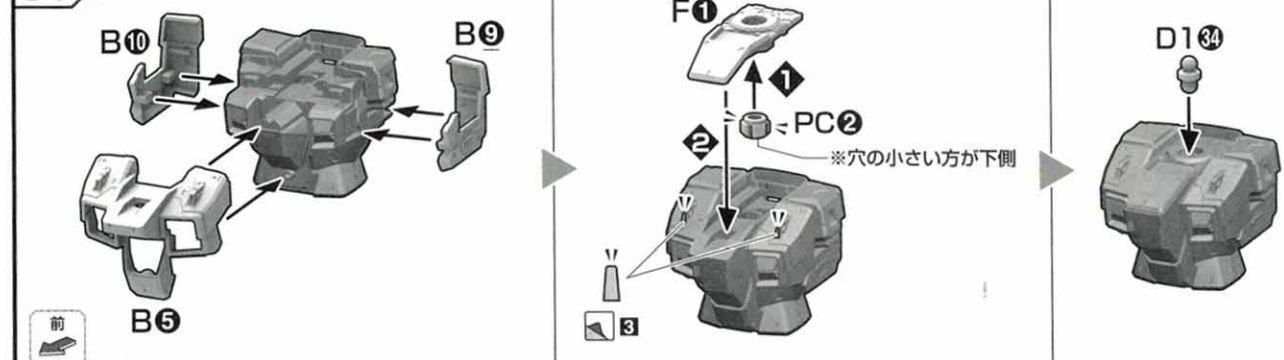
部品の前後を示しています。

01-2

欄外に説明があります。

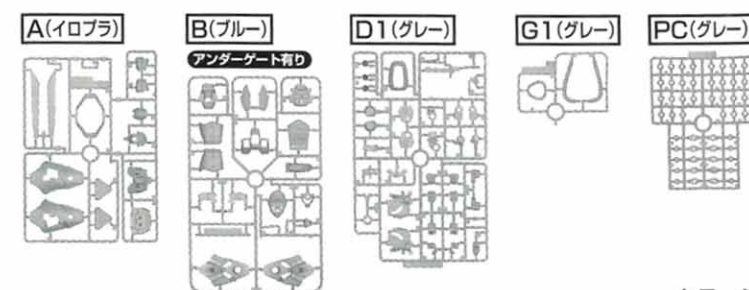


01-3



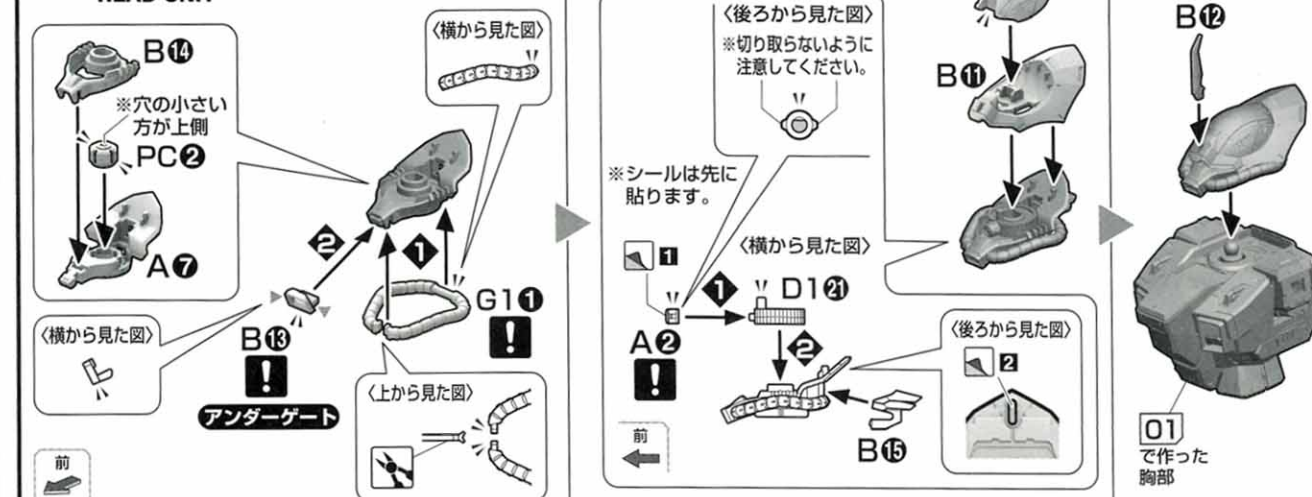
02 HEAD UNIT

・組立[02]で使用するパーツ



・カラーシール

02 [頭部の組立] HEAD UNIT



03 04 05

LEG UNIT



・組立03 04 05で使用するパーツ

A(イロプラ)

アンダーゲート有り



B(ブルー)

アンダーゲート有り



C(ブルー) (x2)

アンダーゲート有り



D1(グレー)

アンダーゲート有り



D2(グレー)



E(ブラック) (x2)



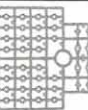
F(オレンジ) (x2)



G2(イエロー)



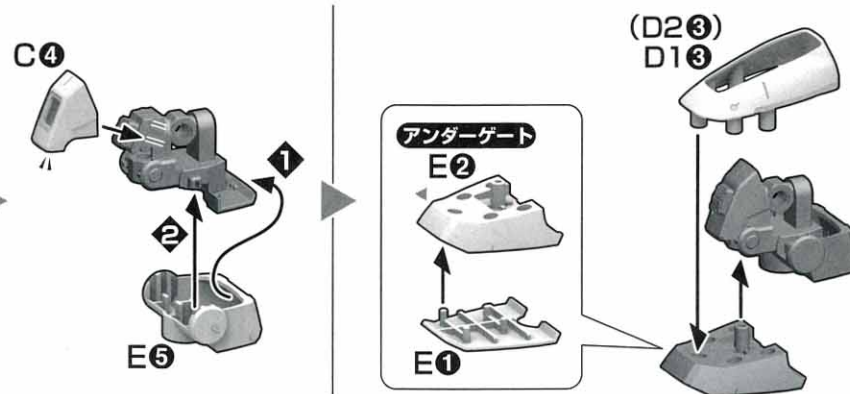
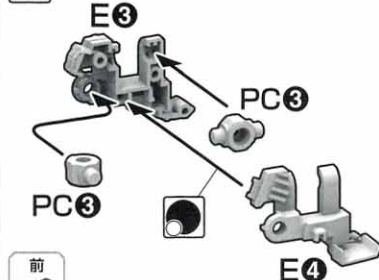
PC(グレー)



03-1 脚部の組立

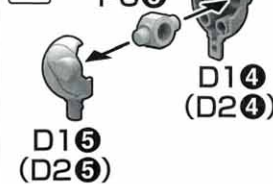
LEG UNIT

x2



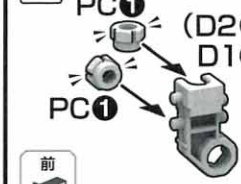
03-2

x2



03-3

x2



(D28)

D18

(D216)

D116

(D27)

D17

C15

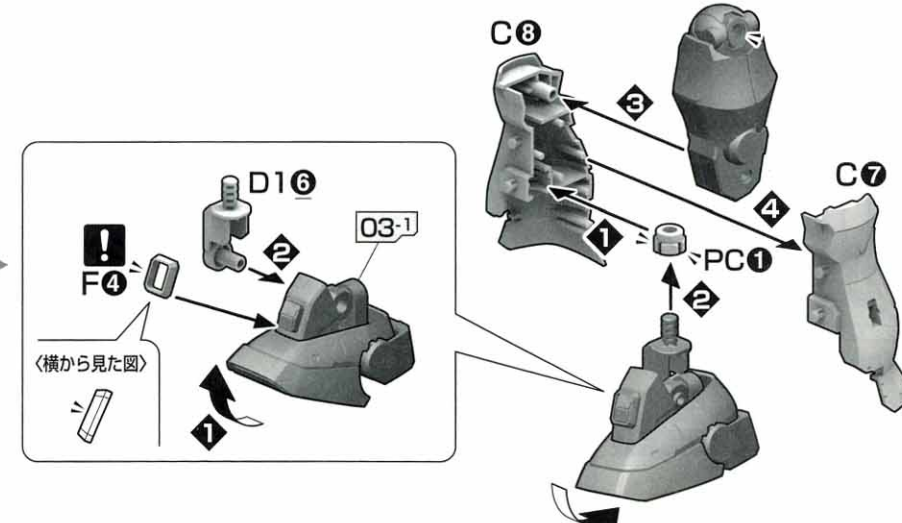
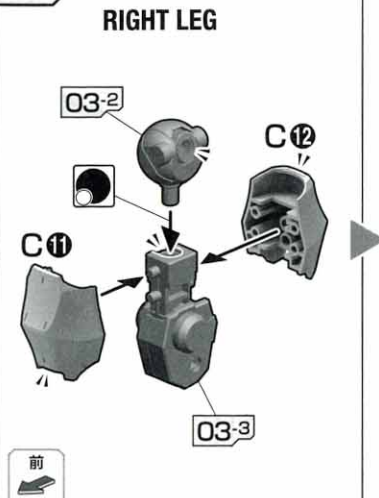
PC1

C15

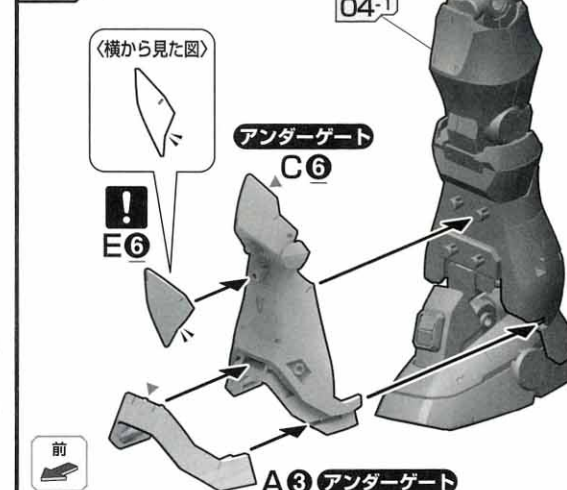
C15

04-1 右足の組立

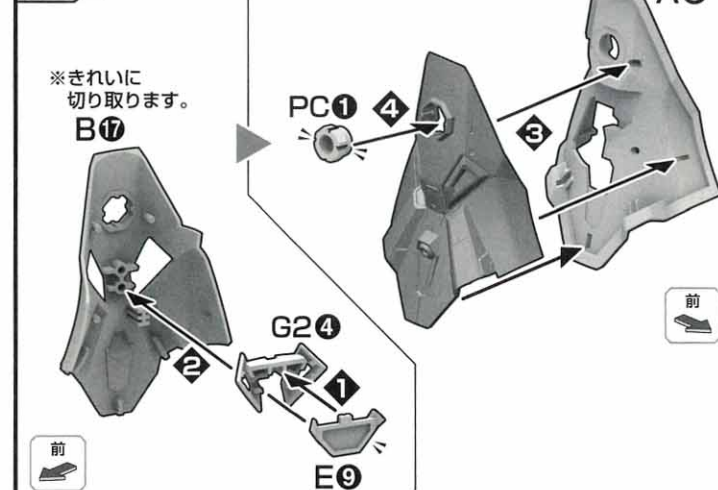
RIGHT LEG



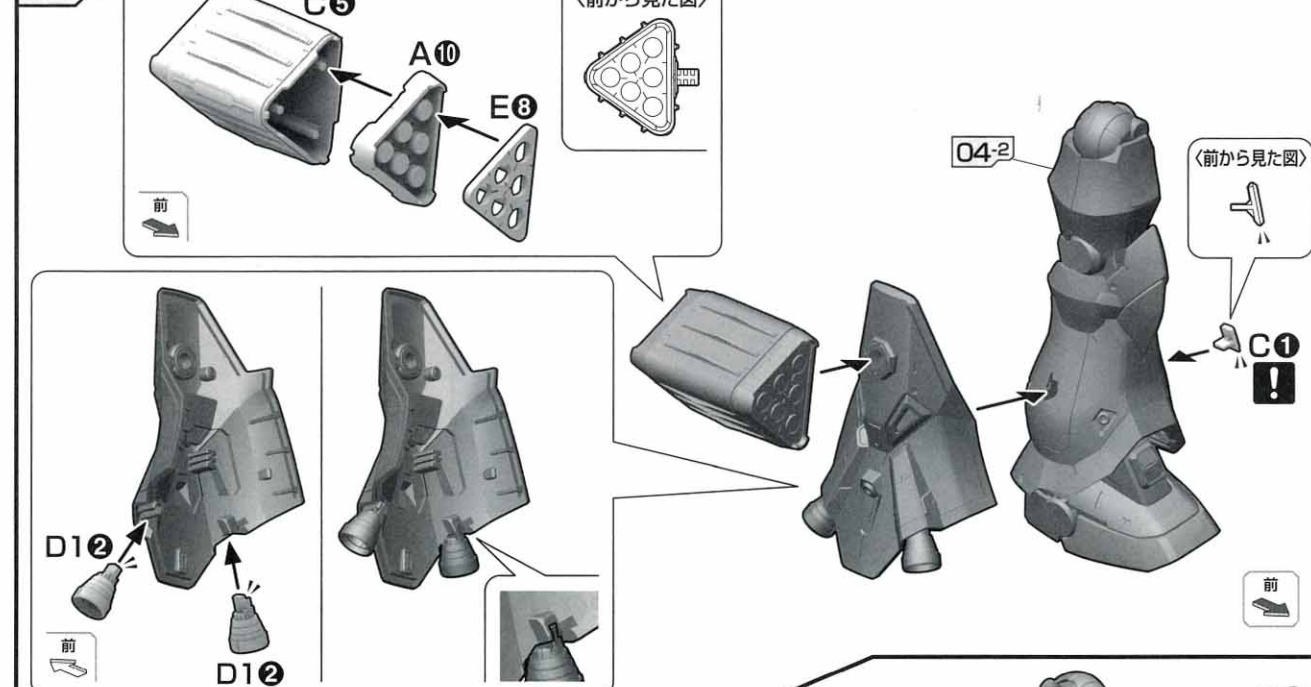
04-2



04-3

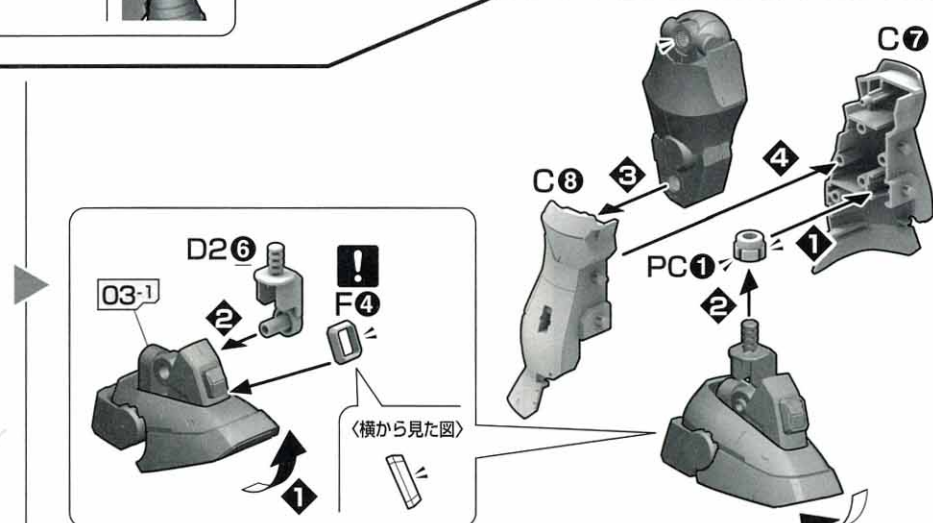
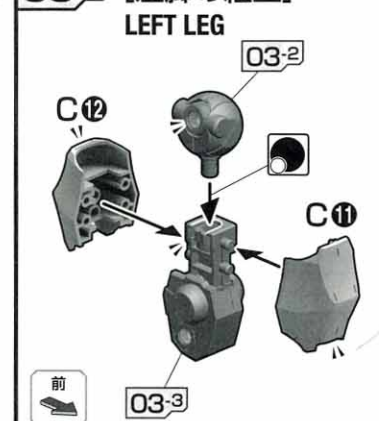


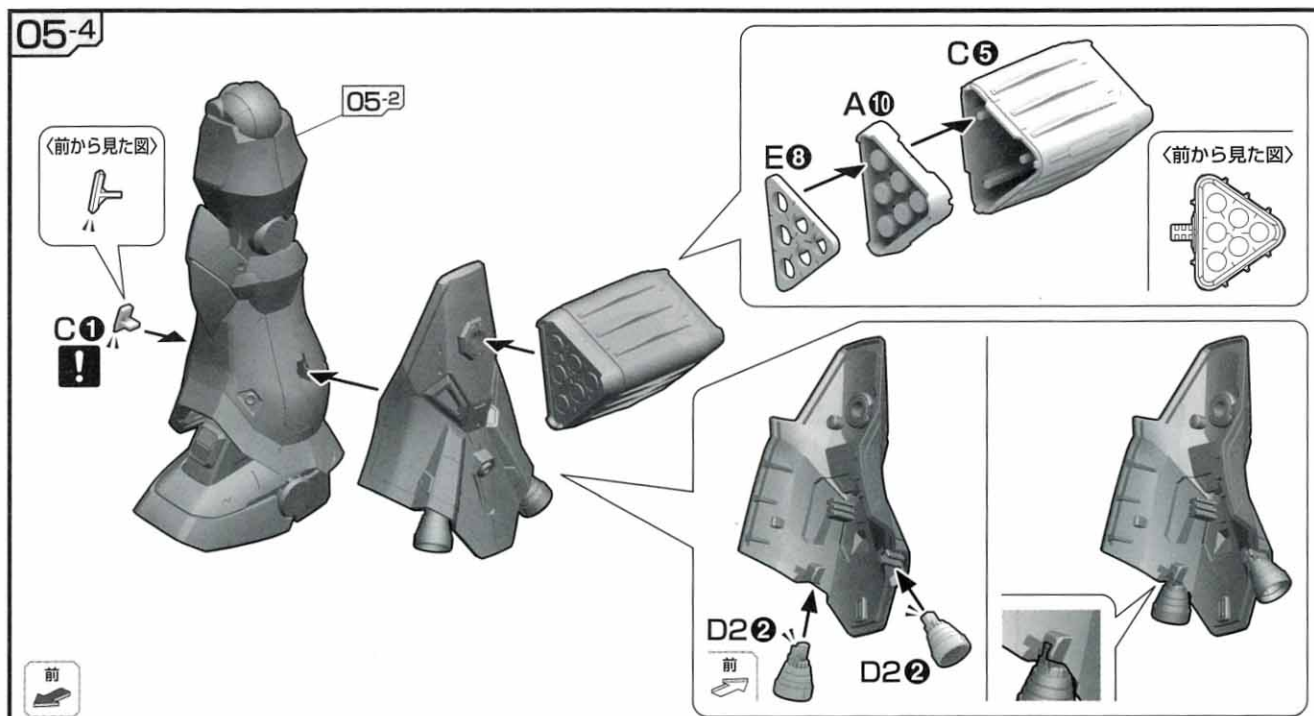
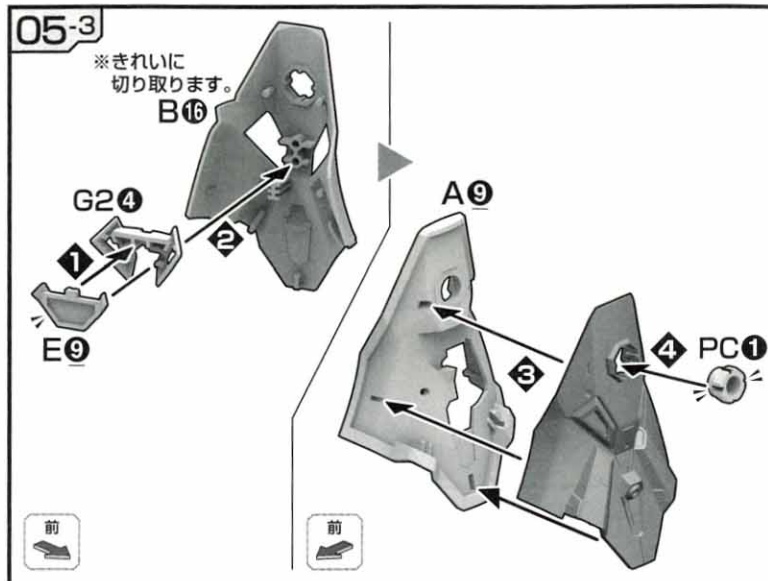
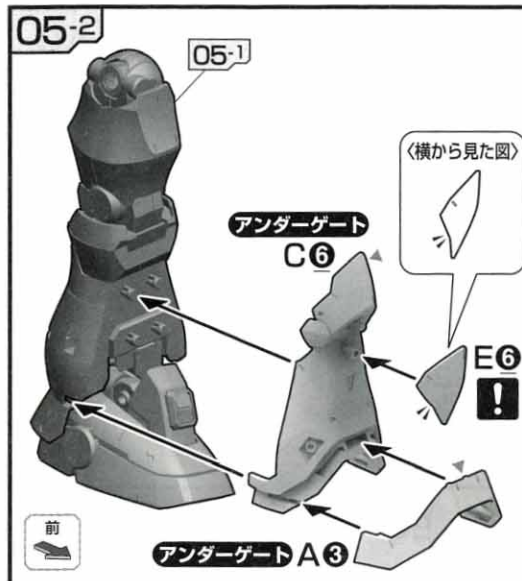
04-4



05-1 左足の組立

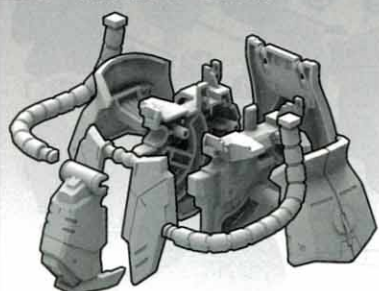
LEFT LEG



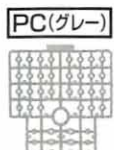
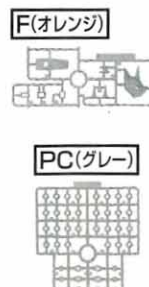


STEP2

06 WAIST UNIT

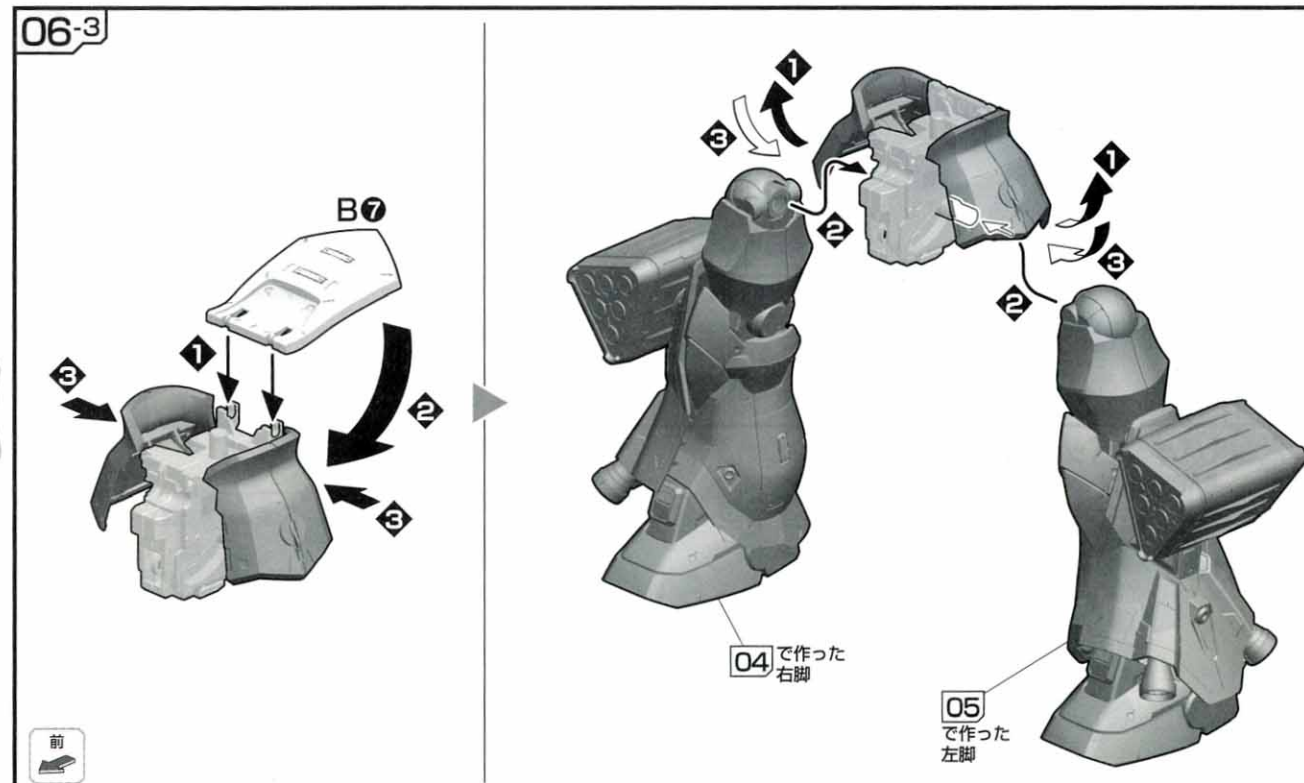
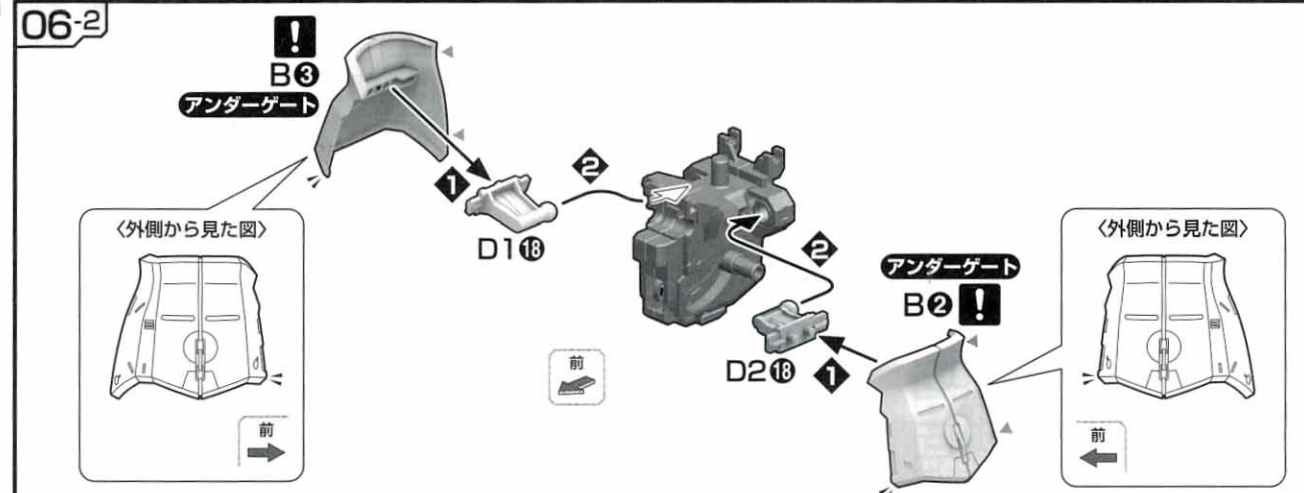
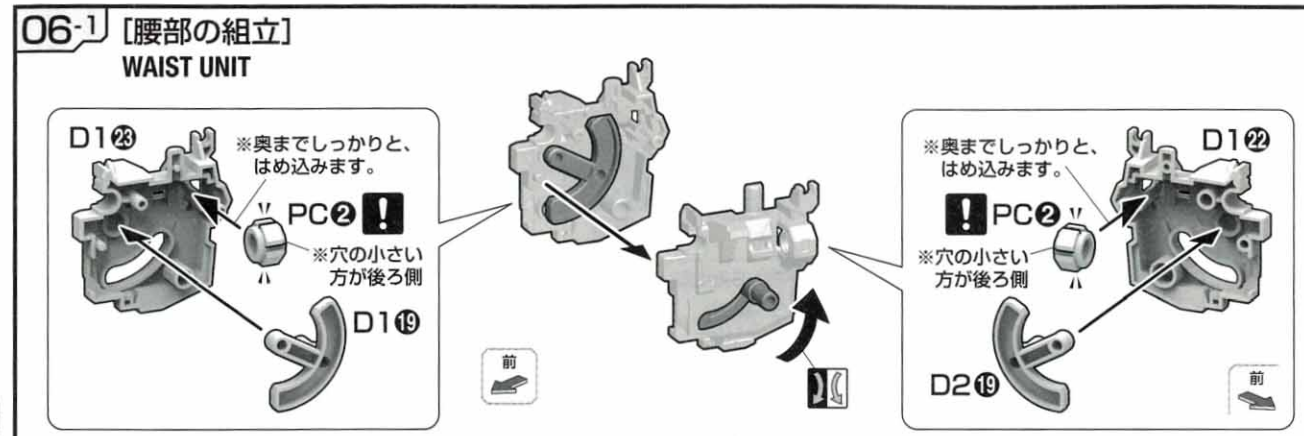


・組立06で使用するパーツ



※組立図中の記号説明

！ 向きに注意して組み立てる

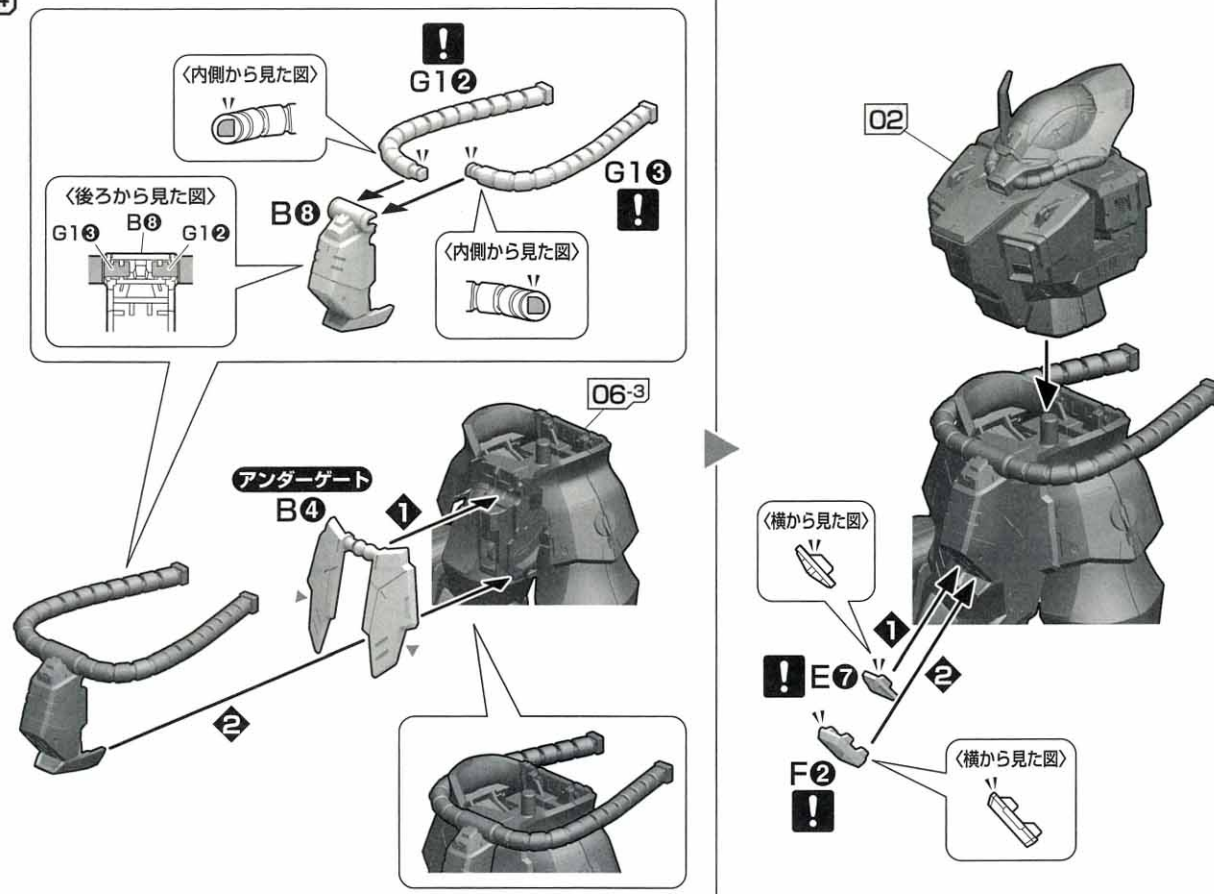


※組立図中の記号説明

！ 向きに注意して組み立てる

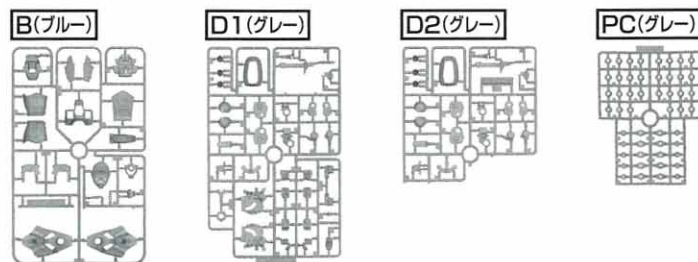
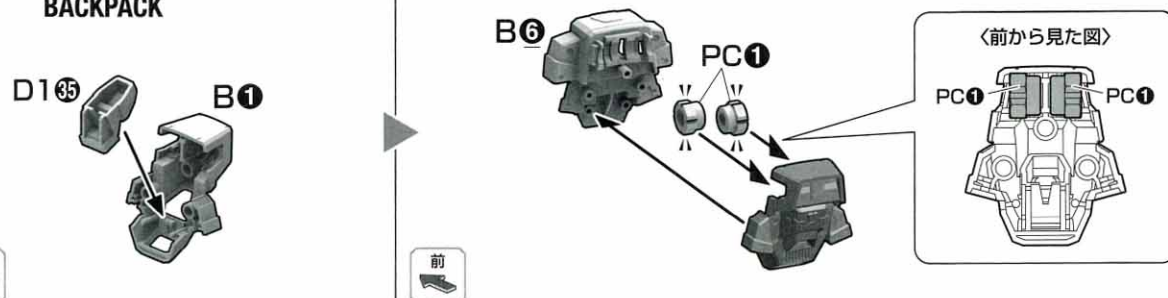
！ 両側を同じように動かす

06-4

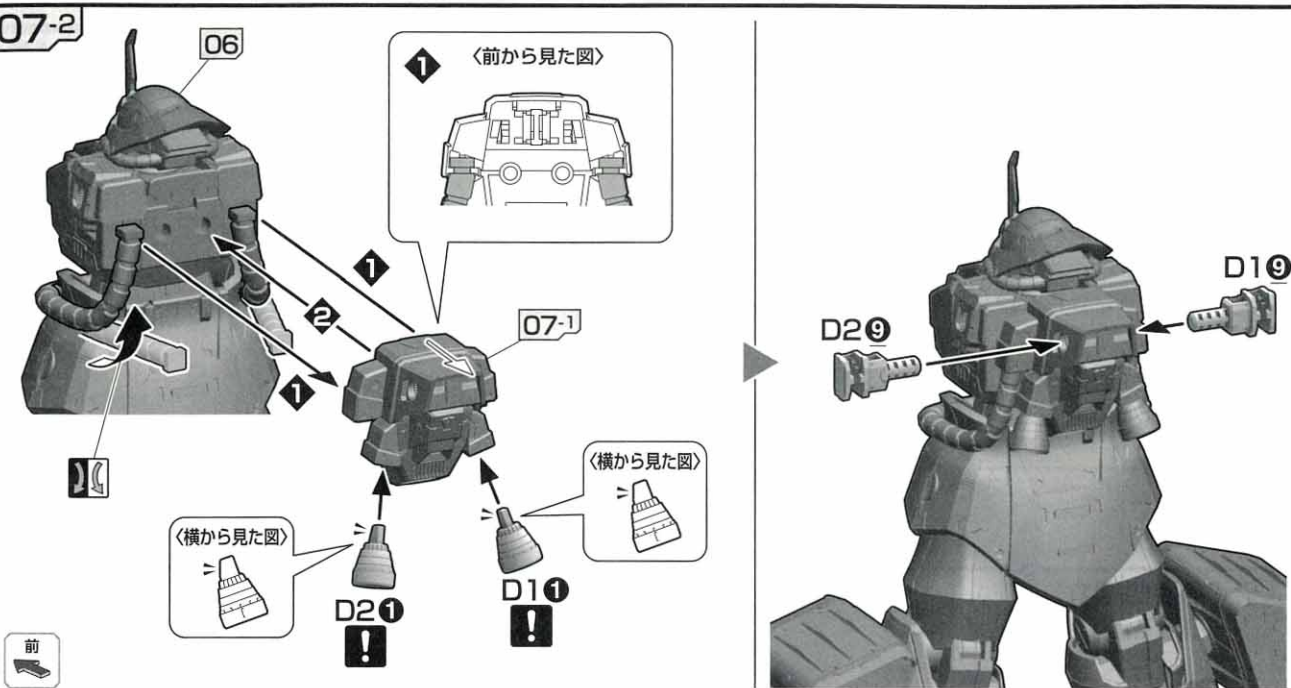


07 BACKPACK

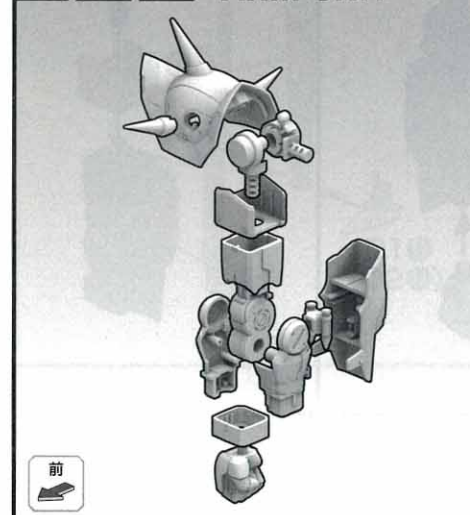
・組立07で使用するパーツ

07-1 [バックパックの組立]
BACKPACK

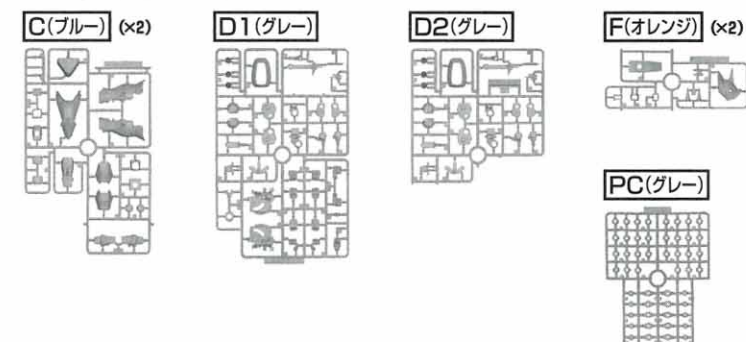
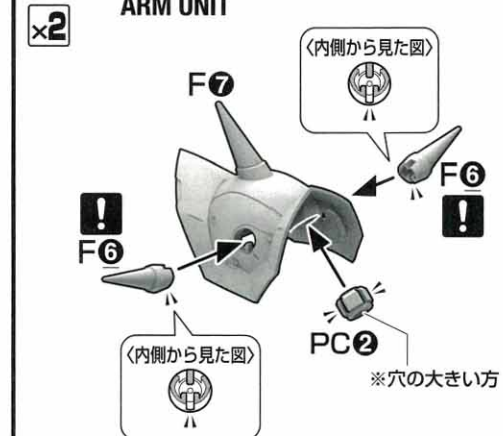
07-2



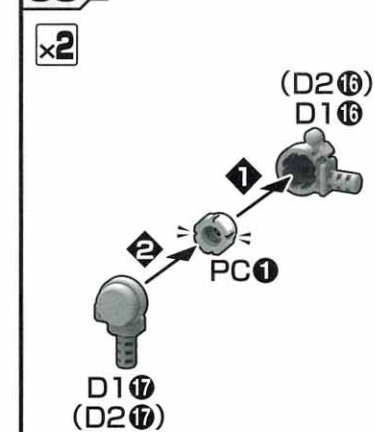
08 09 10 ARM UNIT



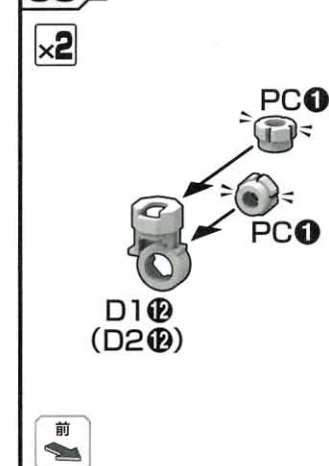
・組立08 09 10で使用するパーツ

08-1 [腕部の組立]
ARM UNIT

08-2

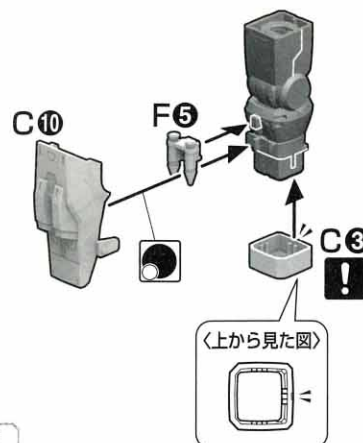
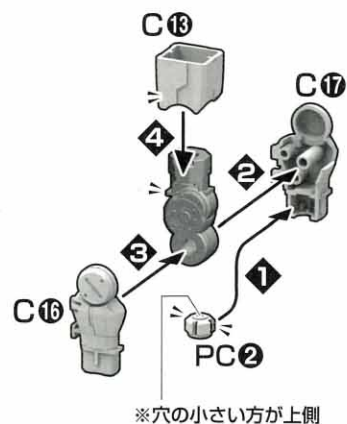
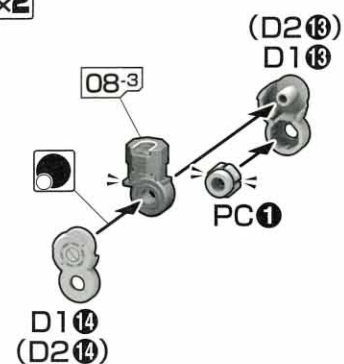
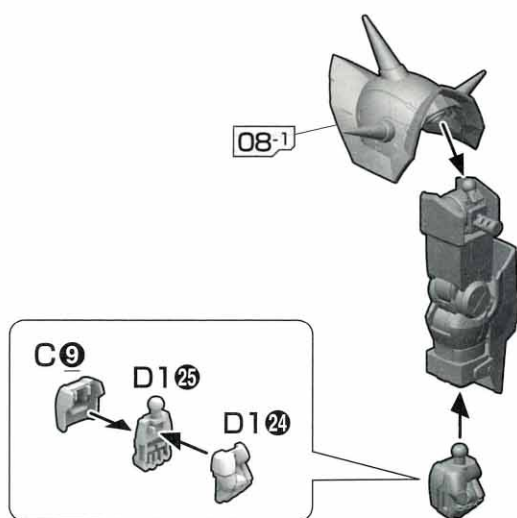
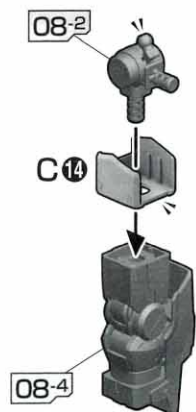
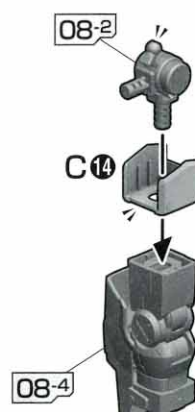


08-3

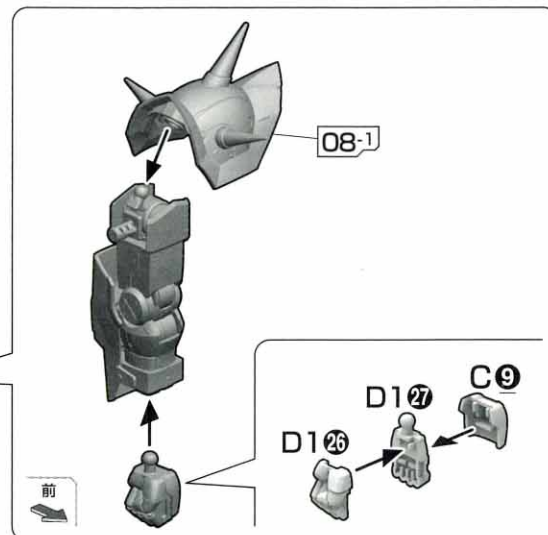
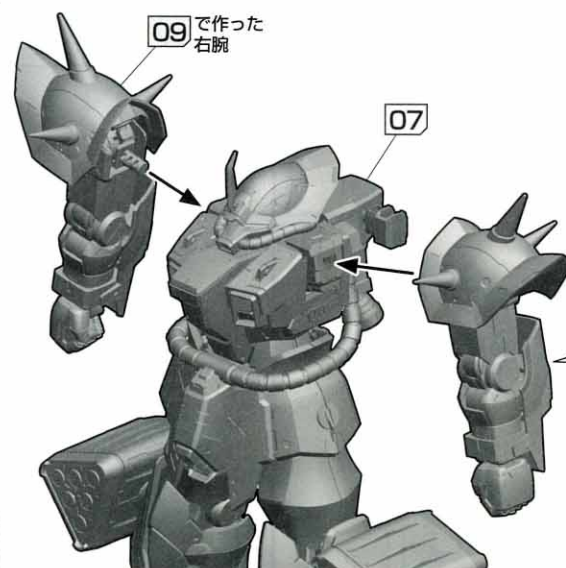


08-4

x2

09 [右腕の組立]
RIGHT ARM10-1 [左腕の組立]
LEFT ARM

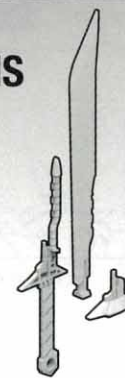
10-2



STEP3

11

WEAPONS



・組立 11 12 で使用するパーツ

A(イロプラ)



C(ブルー)



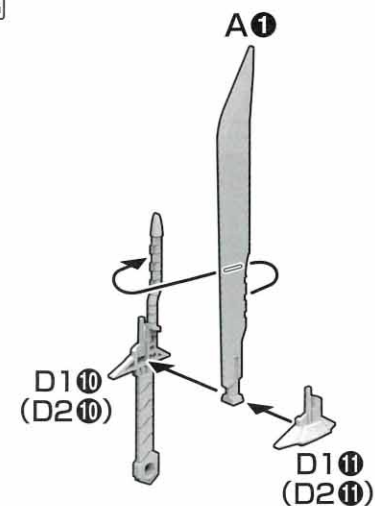
D1(グレー)



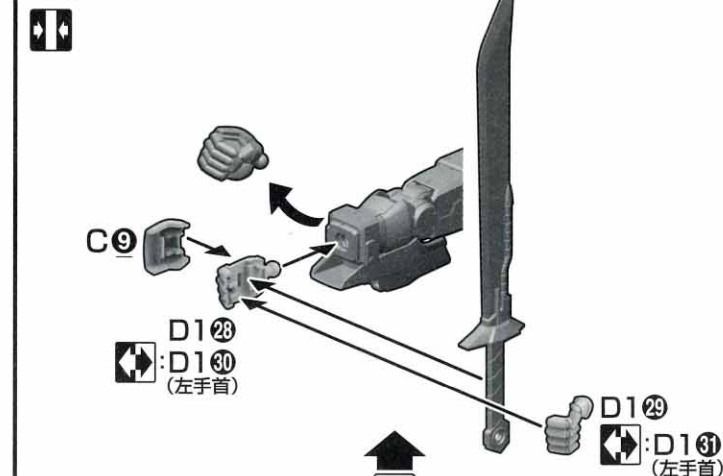
D2(グレー)

11-1 [ヒート・サーベルの組立]
HEAT SABER

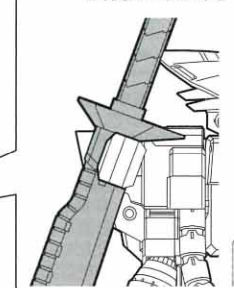
x2



11-2

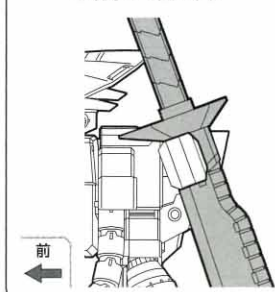


<外側から見た図>

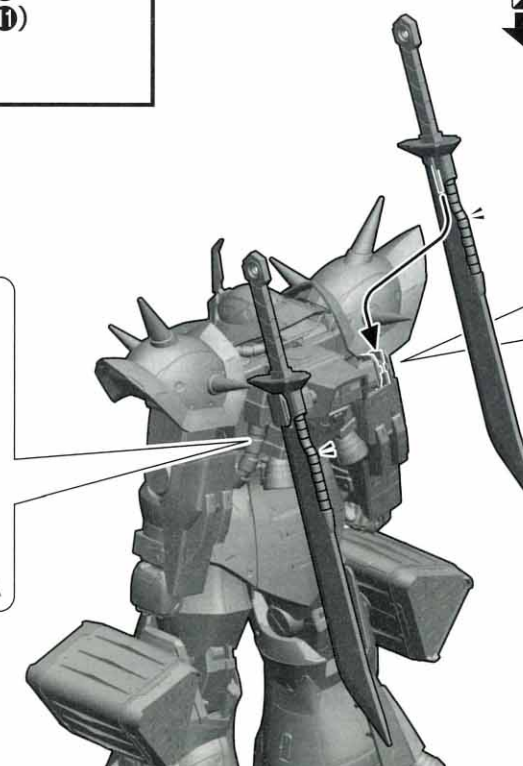


前

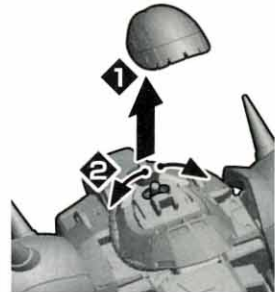
<外側から見た図>



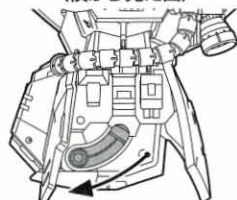
前



〈モノアイの可動〉



〈横から見た図〉



※脚の可動範囲が広がります。
※説明のため、一部イラストを省略しています。



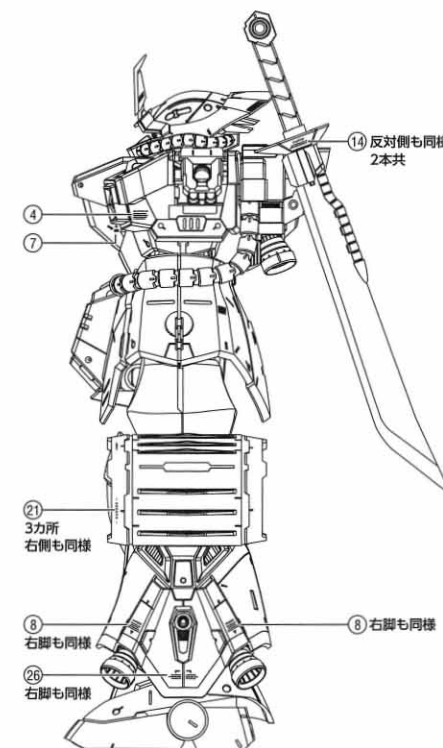
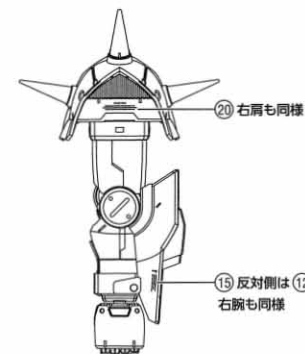
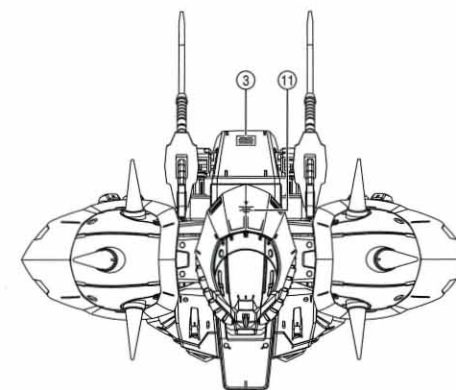
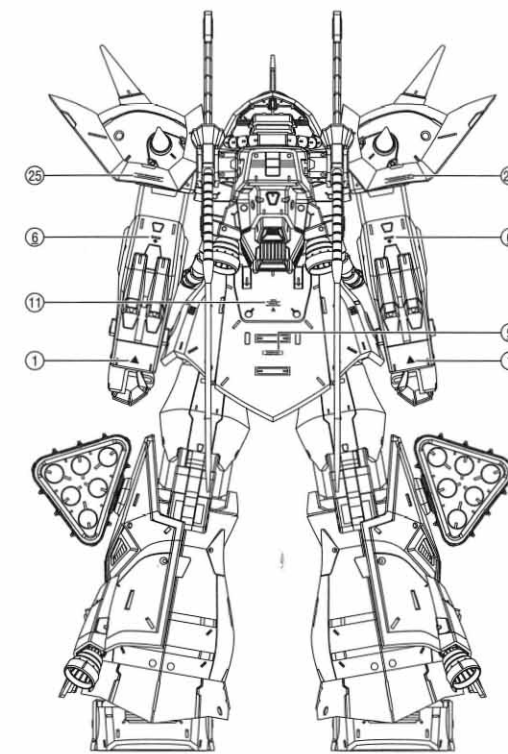
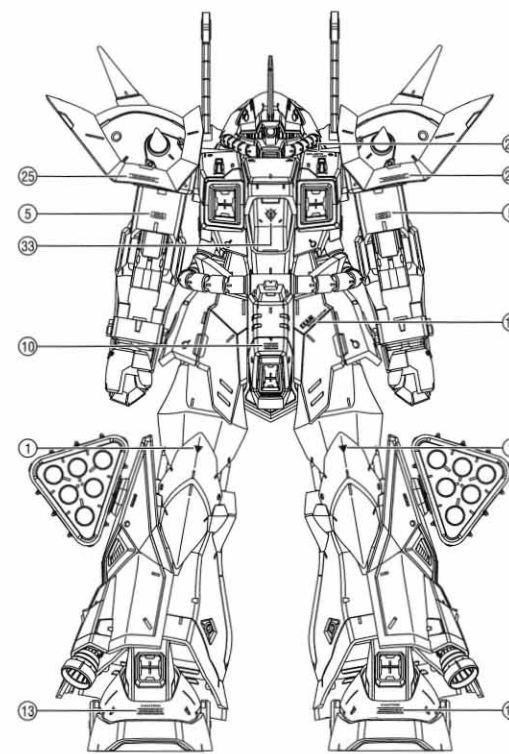
D1 20

※バンダイプラモデル
アクションベース1
(別売り)を使用して
ディスプレイする
こともできます。

※画像の完成品は
塗装してあります。

Seal シール 下の図を見て、マーキングシールの貼る位置を確認してください。

このマーキングシールはプラモデルオリジナルのもので、貼付指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。

※説明のため、一部画像を省略しています。※画像と実際の商品とは多少異なります。